

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン論 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大山敏弘			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
プロダクト製品の材料や仕上げなどデザイナーに不可欠な知識を身につける。さまざまな素材及び加工方法を習得することで、後の課題制作につながる重要なヒントとなる。社会の中の様々なデザインに目を向け、その繋がりを実感することがねらいである。											
到達目標											
プロダクトデザインとしての素材及び加工方法を学び、自ら考察し素材セレクトができること、それに応じたデザインの仕方ができるようになることを目標としている。											
授業方法											
事例紹介を通してデザインと素材・作り方を学び、レポートや発表で理解度を確認する。授業中での研究・発表を通じて、「プロダクトデザイン＝素材・加工の重要性」であることを踏まえ、デザイナーと素材の関わり方を理解し、常識的範疇はもとより新しい素材について意欲的に学ぶ。											
成績評価方法											
作文・課題60%課題を総合的に評価する。 ワークシート10%授業内容の理解度を確認するために実施する。 レポート10%授業内容の理解度を確認するために実施する。 成果発表20%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。自ら関心をもって情報を取材し発表するだけではなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	講師の経歴＋作品紹介、学生自己紹介										
第2回	事例紹介①（デザインと素材の関係性）										
第3回	収集したデザイン製品についてディスカッション素材を探る①										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン論 2	
第4回	収集したデザイン製品についてディスカッション素材を探る②
第5回	事例紹介②（生産現場の紹介）
第6回	金属の種類と加工方法①
第7回	金属の種類と加工方法②
第8回	プラスチックの種類と加工方法①
第9回	プラスチックの種類と加工方法②
第10回	プラスチックの種類と加工方法③
第11回	木材の種類と加工方法
第12回	紙の種類と加工方法
第13回	セラミックの種類と加工方法
第14回	新素材の種類と加工方法
第15回	まとめ